

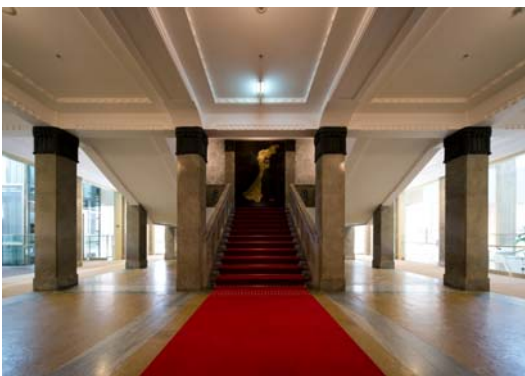
しいのき迎賓館(旧県庁舎)



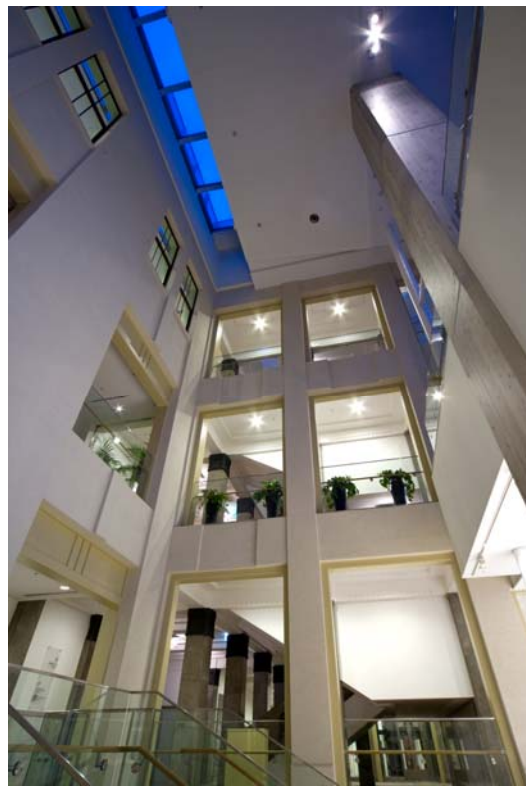
大正13年(1924年)に竣工した旧石川県庁舎本館(設計:大蔵省技師 矢橋賢吉)の歴史的な外観を残し、構造安全性を確保しつつ時代にあった利活用を図り、良好な景観形成と都心の賑わい創出に貢献する施設として保存再生した。



2階 ガーデンルーム



正面玄関





増築棟 吹き抜け



旧庁舎の意匠保存 堂形のしいのきと旧県庁舎の前面部分(スクラッチタイル)の意匠をそのままに、損傷部分の補修を行い、内部は歴史的価値が高い玄関ホール、中央階段などの意匠保存を行った。

増築部分の計画 北側増築部分は外壁をガラス張りとして金沢城石垣の眺望を確保すると共に、内部は既存建築物と一体的な交流、休憩スペースとし、エレベーター等によりバリアフリー化も実現した。

 : 多目的トイレ(各階1箇所、音声誘導、1階のみオストメイト対応、介助用ベット)
車椅子対応EV 2基

 : 伝統産業工芸品の採用
(内装に九谷焼、牛首紬、輪島塗、加賀友禅等のパネルを使用)

■ : 免震構造の採用
4種類のダンパーによる基礎免震で地震力を負担、他、炭素繊維による補強等を実施

DATA	
④文化体育施設	
金沢市広坂地内	
平成20年10月～平成22年3月	
(既存改修部分)	
鉄筋コンクリート造:地上4F	
のべ3, 172. 24㎡	
(増築部分)	
鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造:地上3F地下1F	
のべ1, 715. 72㎡	